

PE 登録体験記 (Kentucky, Environmental, 2019)

○氏名 : A.O.

FE 試験受験 : 2017/05

PE 試験受験 : 2018/04

PE 登録 : 2019/10

1. 自己紹介・概要

水処理エンジニアリング企業の技術開発部門で働いています。この度ケンタッキー州 PE として登録されたので、その概要について記載します。

周囲（社内）に PE 登録者の知り合いは 1 名のみであり、日本の技術士資格保有者の推薦でも登録可能と聞いていた“Kentucky 州”を選択しました。本体験記が、私と同じような環境の方の PE 登録のサポートになればと思い、記録に残させていただきます。

2. 登録の流れ

- ① PE 試験合格 (2018/04)
- ② 登録州の調査 (2018/06)
- ③ 大学シラバス取り寄せ (2018/07)
- ④ 自分で翻訳 (2018/07~2019/03)
※JSPE の学歴レビュー評価支援に申し込みました。
- ⑤ 大学から NCEES に英訳シラバス送付 (2019/08)
- ⑥ NCEES から CE(Credentials Evaluation)完了の通知 (2019/08)
- ⑦ KY 州の HP からダウンロードした“PE 登録 Application”を州事務局に送付 (2019/09/19)
- ⑧ 州事務局より、Reference 5 名にメールが届き、返送する形で Reference を提出
- ⑨ 登録完了 (2019/10/26)

私のケースでは、シラバス翻訳から CE 完了までが最も大変でした。以降に要点をまとめます。

3. NCEES 学歴審査

NCEES の学歴審査を受ける際、NCEES の HP からダウンロードできる Transcript Request(大学のサイン入り)、卒業証明書、成績証明書、そして大学のシラバスを大学から NCEES に送付する必要があります。私の大学では英語のシラバスがなく、「自分で翻訳したものを大学側に承認してもらい、大学側から NCEES へ送付してもらう必要がありました。

大学側からシラバス和文を受領し、自分で翻訳をし、大学側に承認（事務担当者のサイン）をお願いしたところ、「何らかの公的機関の証明がないとサインできない」と断られてしまいました。そこで、技術士事務所に一度シラバス和文と翻訳文の確認をもらい、内容が相違ない旨の証明書を発行したうえで、再度大学側に確認サインを発行してもらいました。

尚、NCEES への提出書類がすべてそろった段階で、NCEES の HP から CE の申請を行い、書類送付後約 2 週間で CE が完了した旨の知らせが MyNCEES にありました。

4. Work Experience および References

次のステップとして、MyNCEES の Multi-State Licensure から、Work Experience を作成しました。ほぼ同時に、Professional References も入力し、関係者に送付しました。ここで、NCEES の Reference 5 名のうち、3 名以上が米国 PE ライセンス保有者でないと、NCEES の WEB 上で次のステップ（各州に申請）に進めないことがわかりました。また、Work Experience の NCEES 担当者からのレビューで「より詳しく記載するように修正せよ」とのコメントが入っており、この段階で NCEES 上からの各州への申請を諦めました。

5. Kentucky 州への申請

Kentucky 州の HP 問い合わせより、上記の理由により NCEES から申請できない旨を送ると、PE 登録担当より、Kentucky 州のフォーマットに記入・提出するように、との連絡がありました。そこで HP から PE 申し込み書類をダウンロードして記入・メール送付しました。

すると、Assistant の方から、支払い方法の連絡があり、それに従いクレジットカードで \$300 支払うと、書類審査が開始しました。

Reference は PE1 名、技術士 3 名、同僚 1 名で審査を通りました。Reference の方々には Kentucky 州事務局より個別にメールが行き、Reference 書類を記入して返送する形でした。

また、Work Experience は、NCEES で修正指示されたものをそのまま Kentucky 州の申込書に転記したもので、問題なく審査を通りました。

すべての必要書類を州事務局が受理した後、数週間で登録完了の旨のメールと登録証の PDF が送られ、その数日後に登録証原本が郵送で到着しました。

6. 最後に

現在の業務では、特段 PE を必要とすることもなく、登録完了までモチベーションを維持するのは大変でしたが、登録証が手元に届き、自分の PE スタンプを保有することができたのはとても嬉しく感じました。PE 登録に伴い、これまでの自分の業務内容の振り返りができたり、今後のキャリアプランについて考えられたりしたことは、良い経験でした。

PE 資格の維持には継続教育が求められるため、引き続き自己研鑽を行い、また同じ PE の方々との交流をさせていただきたいと思います。